

News Release

2013年12月16日

転職サービス「DODA(デューダ)」

DODAのキャリアコンサルタントら300人に聞いた「転職の実態」調査

転職への誤解、1位は「資格やスキルを身につければ有利」

～ 企業選びや面接、転職のプロが見た「やりがちな間違い」を発表 ～

株式会社インテリジェンス(本社:東京都千代田区、代表取締役兼社長執行役員:高橋広敏)が運営する転職サービス「DODA(デューダ)」<<http://doda.jp/>>は、転職活動でよくある誤解や失敗理由について、調査を行いました。

本調査は、DODAにて転職希望者へのカウンセリングを行う「キャリアコンサルタント」、企業向けの採用支援を行う「リクルーティングアドバイザー」300人に対して行ったもので、自社としては初の調査発表となります。

記事詳細はこちら ⇒ <http://doda.jp/guide/pro/>

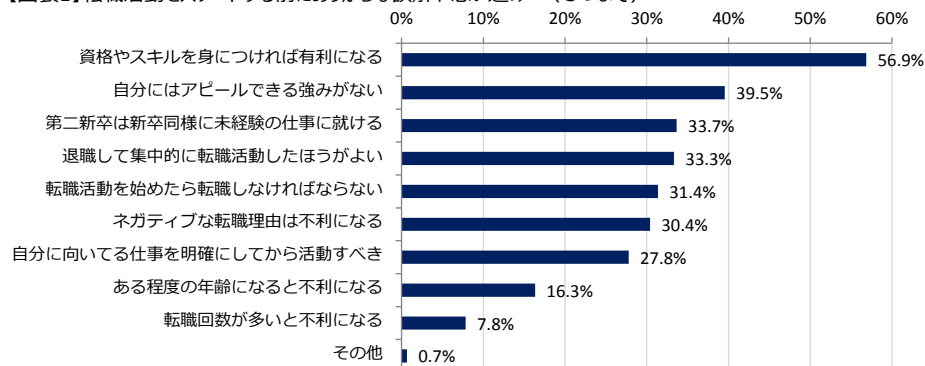
【概要】

■転職活動をはじめの人によくある“誤解”や“思い込み” ～ 「資格やスキルが有効」は都市伝説？

1位は「資格やスキルを身につければ有利になる」、2位は「自分にはアピールできる強みがない」でした。

転職活動は、一番に「これまでどんな仕事をしてきたか」が問われるものです。資格や高いスキルを持つものの実務経験がない「ペーパーライセンス」は転職活動では有利になりません。また「何もアピールできない」と自信を持たない方もいますが、これも思い込み。「こんな仕事は誰でもできる」と思い込んでいることが、実は強力なアピールとなることは少なくありません。

【図表1】転職活動をスタートする前にありがちな誤解や思い込み (3つまで)



■面接で失敗する理由 ～ 一次では「基礎的な能力」、二次は「経験・強み」 最終は「熱意・キャリアプラン」重視

よく聞く「NG理由」は、一次面接の1位は「質問の意図と違うことを話す」(55%)。最終面接でもNG理由の1位に。転職活動中の個人にはほぼ知らされることのないNG理由の実態が明らかになりました。

一次面接 (人事部門)			二次面接 (配属現場)			最終面接 (役員)		
項目	回答率		項目	回答率		項目	回答率	
1位	質問の意図と違うことを話す	55.2%	1位	どうしても入社したいという熱意を感じない	51.6%	1位	質問の意図と違うことを話す	69.3%
2位	応募企業のことを調べていない、理解が浅い	40.5%	2位	経験やスキルが即戦力として活かせない	49.0%	2位	どうしても入社したいという熱意を感じない	69.0%
3位	どうしても入社したいという熱意を感じない	33.0%	3位	質問の意図と違うことを話す	47.4%	3位	中長期的なキャリアプランがない	29.7%
4位	話が長い	30.4%	4位	強みやアピールポイントが曖昧	31.0%	4位	応募企業のことを調べていない、理解が浅い	20.9%
5位	経験やスキルが即戦力として活かせない	30.4%	5位	応募企業のことを調べていない、理解が浅い	29.1%	5位	経験やスキルが即戦力として活かせない	14.1%

※「DODA 編集長」による解説は2ページ目

本件に関するお問合せ先
<http://www.inte.co.jp/contact/pr/>

【解説】 転職への思い込み、「いい転職」への妨げに 事前に正しい転職の知識を

DODA のキャリアコンサルタントは、年間で1人あたり約500人の転職希望者にお会いしており、リクルーティングアドバイザーも、ほぼ毎日、企業の人事から生の声をいただきます。そんな転職のプロへのヒアリング調査から、「個人が見ている視点」と「企業が重視する点」が合っていないポイントが明らかになりました。

ここ数年で転職は過去よりずっと一般的になり、2社目、3社目で活躍する人も珍しくありません。とはいえ、転職への思い込みや誤解は、まだまだ多い状況です。また、マーケットのスピードは加速しており、以前は「転職の常識」だったものが、すぐに古くなってしまふこともあります。

転職は一人だけで成功できるものではありません。転職のプロに相談したり、多くの企業の話を知ったりしながら、事前に正しい知識を身につけて、転職活動を進めて下さい。そうして目指すキャリアプランを実現し、未来を変える「いい転職」を成功させていただきたいと思います。 (DODA 編集長 木下 学)



【DODA 編集長のご紹介】

木下 学

2000年、慶應義塾大学商学部卒業。新卒にて株式会社インテリジェンス入社。事務派遣領域(現:派遣ディビジョン)で、法人営業に従事し、同事業におけるマネジャー、紹介予定派遣事業推進責任者を経て、2007年より、人事部門の新卒・中途採用責任者を経験。

その後 2009年に人材紹介サービスを手掛けるキャリアディビジョンに異動し、関西地区責任者、部門人事責任者に従事し、2012年10月にDODA編集長に就任。現在に至る。

【調査概要】

調査期間 : 2013年11月5日(火)~11月11日(月)

対象 : DODA 転職支援サービスにて、キャリアコンサルタントもしくはリクルーティングアドバイザーに従事する男女 306人

「DODA」について <<http://doda.jp/>>

「DODA」は、専任のキャリアコンサルタントによる転職支援サービス、インターネットサイト上での求人情報サービス、スカウトサービス、「DODA 転職フェア」に代表されるイベントサービスを中心に、転職や中途採用に関わる多様なサービスをワンブランドで展開しています。ブランドスローガン「いい転職が、未来を変える。」のもと、より多くの転職希望者、人材を採用する企業がともに成長し、より良い未来を切り開いていくことを目指し、人と組織の最適なマッチングを目指してまいります。